

<2019年度 児童発達支援 保護者向けアンケート>

公表日：2020年3月

発達支援ルーム にこっと
中野教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	27	5	1	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	30	3	0	
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	29	4	0	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	32	2	0	・今の人数(同じ時間に三人程度)なら大丈夫かと思えます。 ・単なる要望ですが、今後にもこっとの施設を増やしていただきたいです。
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画[ii]が作成されているか	31	2	0	
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	25	5	0	
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	29	4	0	
	⑧	活動プログラム[iii]が固定化しないよう工夫されているか	26	6	0	
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか				(当教室では実施しておりません)
保護者 への 説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	30	3	0	
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	33	1	0	
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング[iv]等）が行われているか	21	10	2	
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	29	4	0	
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	29	5	0	
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	11	12	4	
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	23	7	1	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	24	8	0	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	21	7	1	
等 非 応 常 対 時	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	13	11	4	・意識したことがありませんでした。 ・訓練について伺ったことがありません。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16	6	4	
満足 度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	30	2	1	・子供は毎週楽しみにしています。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	30	3	1	・子供が楽しんで通っていること、保護者の相談に親身になって乗って下さること、相談した内容をすぐさま療育に反映して下さることとその内容の適切さ、すべて満足しています。これからもよろしくお願い致します！

その他、ご意見やご感想があればご記入ください。

- ・子供の事を一番考えていただいて、感謝しかありません。ありがとうございます。
- ・いつもありがとうございます。予定が合わず、毎週の療育以外のイベントごとに全く参加できていないので、2020年は参加してみたいです。
- ・この調子で先生と信頼関係を築いていってほしいです。
- ・スタッフの方々のお力添えに感謝致します。

ご意見をふまえた対応について

環境・体制整備	引き続き、清潔感のある教室づくりに取り組みます。また、限られたスペースですが、活動内容や流れを工夫してプログラムを実施してまいります。待合室はやや狭いため、ごきょうだい児同伴の場合はご迷惑をおかけしております。できるだけ部屋を開放したり、おもちゃを配置したりするなどして、過ごしやすい空間づくりをしていきます。
適切な支援の提供	大変良いご評価をいただき、ありがとうございます。今後も、安心して楽しく過ごしていただきながら、一人ひとりのお子さんに適切な支援を提供できるよう努めてまいります。
保護者への説明等	本年もペアレントプログラムを実施し、ご好評いただきました。保護者向けの子育て勉強会とともに、引き続き、家族支援として取り組んでまいります。不定期ですが、通信の発行を開始いたしました。教室からのお知らせやイベント報告を掲載していきます。また、HPのリニューアルとともに、ブログ機能をつけました。今後も、保護者のみなさまとの日々のコミュニケーションを密にしていきたいと考えております。
非常時等の対応	各年齢のグループで、避難訓練を実施いたしました。今後は、全ての方を対象にして訓練を行っていきたくと考えております。
満足度	日々ご利用いただくお子さま、ご家族の皆様のため、引き続き、スタッフ一同、協力し合い、切磋琢磨しながらより良い支援をご提供できるよう努めてまいります。

<2019年度 放課後等デイサービス 保護者向けアンケート>

発達支援ルーム にこっと
中野教室

			はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見・自由記述
体制 環境 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10	4	1	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	15	0	0	
適切な 支援の 提供	③	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されているか	14	1	0	
	④	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	14	1	0	
保護者 への 説明等	⑤	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14	0	1	
	⑥	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	14	1	0	
	⑦	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15	0	0	
	⑧	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9	5	1	
	⑨	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	2	0	
	⑩	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12	2	0	
	⑪	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	12	2	0	
	⑫	個人情報に十分注意しているか	13	0	0	
非常 時 の 対 応	⑬	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9	3	0	
	⑭	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	4	0	
満足 度	⑮	子どもは通所を楽しみにしているか	10	5	0	
	⑯	事業所の支援に満足しているか	15	0	0	・これ以上求めるのであれば、親はいらなくなってしまうので、これ以上ないくらい、満足しています。 ・活動内容や普段の子どもとのやり取りが、事務的なものではなく狙いや目的を伴っており、保護者にもとても親身になって下さっている。

その他、ご意見やご感想があればご記入ください。

- ・個別支援計画を読むといつも思うのですが、子供の特徴が端的にわかりやすく書かれていて、子供の事を本当によく見て頂けているのだと感じます。学校の先生などに、子供の事を説明する際にとても参考にもなっています。困った時にも、良いアドバイスをたくさん頂けていて本当に有り難いです。その分、3年生までというのがとても残念なのと、4年生からどうしたらよいのか不安です。
- ・にこっとに助けられています。感謝しております。
- ・プロ集団による温かくきめ細やかなご指導、いつも感謝しております。

ご意見をふまえた対応について

環境・体制整備	引き続き、清潔感のある教室づくりに取り組みます。また、限られたスペースですが、活動内容や流れを工夫してプログラムを実施してまいります。待合室はやや狭いため、ごきょうだい児同伴の場合はご迷惑をおかけしております。できるだけ部屋を開放したり、おもちゃを配置したりするなどして、過ごしやすい空間づくりをしていきます。
適切な支援の提供	大変良いご評価をいただき、ありがとうございます。今後も、安心して楽しく過ごしていただきながら、一人ひとりのお子さんに適切な支援を提供できるよう努めてまいります。
保護者への説明等	本年もペアレントプログラムを実施し、ご好評いただきました。保護者向けの子育て勉強会とともに、引き続き、家族支援として取り組んでまいります。 不定期ですが、通信の発行を開始いたしました。教室からのお知らせやイベント報告を掲載していきます。また、HPのリニューアルとともに、プ
非常時等の対応	各年齢のグループで、避難訓練を実施いたしました。今後は、全ての方を対象にして訓練を行っていきたくと考えております。
満足度	日々ご利用いただくお子さま、ご家族の皆様のため、引き続き、スタッフ一同、協力し合い、切磋琢磨しながらより良い支援をご提供できるよう努めてまいります。

<2019年度 児童発達支援事業 自己評価結果表>

発達支援ルーム にこっと
中野教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		法令による床面積を確保しています。個別療育の利用が多い日は、スペースの工夫が必要になります。また、部屋全体の音量が大きくなる時もあります。
	②	職員の配置数は適切であるか	○		人員基準以上のスタッフを配置しています。また、心理職などの有資格者のみを配置しています。グループ運営のために、人数が十分な時は減らす工夫をしています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		療育活動に不要なもの・刺激になるものを、教室内に配置しないようにしています。玄関の先に階段が2段あるので、危険があります。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		毎日の清掃と定期的な清掃を実施しています。グループ活動の時には、広い空間確保のために、机やいすなどの出し入れを工夫しています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		ガイドラインに基づいた業務改善の話し合いなどを、定期的にスタッフ間で行っています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		毎年、保護者アンケートを冬に実施しています。保護者のみなさまからの声をもとに、改善策を検討いたします。対応が難しいご指摘については、ご理解を得られるよう説明を行います。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		毎年実施しており、保護者には書面とホームページで報告しています。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	第三者評価は実施しておりません。今後の課題です。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		日々のOJTやケースカンファレンスとともに、講師を招いて研修を実施しています。また、区の研修や講習に積極的に参加しています。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		保護者との相談の中でニーズや課題を確認し、定期的にカンファレンスを行い、担当者で児発管によって支援計画を作成しています。計画作成時だけでなく常に立ち戻りながら支援を行う必要があると感じます。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		教室で必要に応じて、WISC-IV、新版K式などの発達検査を実施したり、他機関で実施した検査結果を支援に活かしています。必要に応じて、ST・OTの個別相談や評価も行います。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		個別支援計画は、各項目に分けて、わかりやすく記入するように努めています。ただし、支援計画の説明が期日後になってしまうことが多くあるので、スケジュールを意識してモニタリングや作成を行う必要があります。また、日々、支援計画を基にして、支援に取り組んでいます。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		特にグループ療育の活動プログラムは、常にチームで日常的に検討し、お子さんに合った内容、積み重ねていく内容にするよう努めています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		お子さんの年齢や特徴に合わせて、個別療育とグループ療育を組み合わせた支援を提供しています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		グループ療育の前は、必ず時間をとって行っています。ただし、曜日によっては時間の確保が難しい場合があるため、今後の課題とらえています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		毎日必ず行っていますが、お子さんの帰りが遅くなる時や片付けが多い時には、振り返りが終業時間後になることがあります。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日々の記録を丁寧に記載するように努めていますが、時間が少ない時には記録量が少なくなる時があります。記録をもっと支援の改善につなげていけるよう努めていきます。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		6か月ごとに必ず内部評価として、担当者と児発管がモニタリングをし、児童発達支援計画を更新しています。
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		管理者や児発管が、区との連携・相談を主になっています。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		今年度は、子ども家庭支援センター、保健センター、病院などと連携を行いました。
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			在籍していません。

関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			在籍していません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		移行支援を行ったお子さんはいませんが、ご家族の要望に応じて、園訪問や連携を行っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		ご家族の希望に応じて、杉並区・中野区の形式に沿った就学支援シートの作成をしています。中野区では、就学後の会議にも参加しています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		杉並区こども発達センターとの連携や、杉並区・中野区主催の研修に参加しています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	実施していません。
	29	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		参加の必要がある時には、管理者が参加する体制をとっています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		毎回、保護者とお子さんが一緒に来室していますので、お子さんの状況などを保護者と共有し、相談するように努めています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		今年度は、外部講師を招聘して保護者向け講演会を年2回行いました。また、ペアレントプログラムを秋に実施しました。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		管理者・児発管が行っています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		お子さんに合わせて、ガイドラインの支援内容から必要な項目を選択して、担当者と専門職、児発管により作成しています。作成時と更新時には、保護者に説明をして同意を得ています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		日常的に、児発管や心理職・保育士が中心となり保護者支援を行います。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	開催していません。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		児発管もしくは担当者が、迅速・丁寧に対応する体制を整えています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		不定期ですが、今年度より通信の発行を開始いたしました。教室からのお知らせやイベント報告を掲載しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報には細心の注意をもって取り扱っています。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		お子さんはもちろんのこと、保護者の方に合わせた、情報伝達・コミュニケーションを心がけています。
非常時等の対応	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	実施していません。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		今年度、各種マニュアルの整備を行いました。 また、訓練を各曜日で1回ずつ行いました。引き続き、必要に応じてマニュアルの修正を行っていきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		利用開始時にご記入いただく生育歴シートの項目で確認しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	おやつなどの飲食物は提供していません。小麦粉を使った製作などのときはその都度確認しています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○	日々のふりかえりの中で共有しています。また、事例として、ミーティングで確認しています。事例集の作成はまだ行ってないので、今後の課題としていきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		毎年1回、全体研修を行っています。また、杉並区・中野区主催の研修に責任者やスタッフが積極的に参加しています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか			身体拘束は行いません

＜2019年度 放課後等デイサービス 自己評価結果表＞

発達支援ルーム にこっと
中野教室

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		基準の定員とスペースを確保していますが、小学生が運動課題をするときには、狭さを感じる時があります。プログラム内容を工夫して危険が無いよう実施します。
	②	職員の配置数は適切であるか	○		人員基準以上のスタッフを配置し、有資格者のみを配置しています。グループでは、お子さん2人につき、1人以上のスタッフを配置して行っています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○	療育活動に不要なもの・刺激になるものを、教室内に配置しないようにしています。玄関の先に階段が2段あるので、危険があります。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		ガイドラインに基づいた業務改善の話し合いなどを、定期的にスタッフ間で行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		毎年、保護者アンケートを冬に実施しています。保護者のみなさまからの声をもとに、改善策を検討いたします。対応が難しいご指摘については、ご理解を得られるよう説明を行います。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		毎年実施しており、保護者には書面とホームページで報告しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	第三者評価は実施しておりません。今後の課題です。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		日々のOJTやケースカンファレンスとともに、講師を招いて研修を実施しています。また、区の研修や講習に積極的に参加しています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		保護者との相談の中でニーズや課題を確認し、定期的にカンファレンスを行い、担当者や児発管によって支援計画を作成しています。計画作成時だけでなく常に立ち戻りながら支援を行う必要があると感じます。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		教室で必要に応じて、WISC-IVなどの発達検査を実施したり、他機関で実施した検査結果を支援に活かしています。必要に応じて、ST・OTの個別相談や評価も行います。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		特にグループ療育の活動プログラムは、グループリーダーが中心となって常にチームで検討し、お子さんに合った内容、積み重ねていく内容にするよう努めています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		長期休暇時には、特別プログラムやイベントを実施しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		個別療育とグループ療育を組み合わせた支援を提供しています。グループでの対応が難しいケースでは、個別対応もしています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		グループ療育の前は、必ず時間をとって行っています。ただし、曜日によっては時間の確保が難しい場合があるため、今後の課題とらえています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		できるだけ丁寧にしていますが、見送りが長くなる時や片付けが多い時は、終業時間後まで続いてしまうことがあります。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日々の記録を丁寧に記載するように努めていますが、時間が少ない時には記録量が少なくなる時があります。記録をもっと支援の改善につなげていけるよう努めています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		6か月ごとに必ず内部評価として、担当者と児発管がモニタリングをし、児童発達支援計画を更新しています。
関係機関や保	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○		多面的な支援を提供できるように工夫している。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		会議は実施されていませんが、相談支援事業所や行政との連携・情報交換を密に行っています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○	送迎を実施していないため、質問項目のような情報共有が必要ない状況です。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			対象となるお子さんがいません
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		資料等を保護者から提出していただき、支援につなげています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			対象となるお子さんがいません

護 者 と の 連 携	㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		杉並区こども発達センターとの連携や、杉並区・中野区主催の研修に参加しています。
	㉕	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	実施していません
	㉖	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	○		代表や児童発達支援管理責任者が主に、情報交換会や関係者会議等に参加しています。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		教室の強みとして、丁寧に相談や共通理解を進めていけるよう努めています。
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		今年度は、外部講師を招聘して保護者向け講演会を年2回行いました。また、ペアレントプログラムを秋に実施しました。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉙	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		管理者・児発管が行っています。
	㉚	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		毎回、保護者とお子さんが一緒に来室していますので、保護者と振り返りや相談を行う時間を必ず設け、お子さんの状況などを保護者と共有し、相談するように努めています。
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	父母の会や保護者会は開催していませんが、グループ療育の振り返り時間を活用して、保護者同士のつながりや連携支援ができるよう努めています。
	㉜	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		児発管もしくは担当者が、迅速・丁寧に対応する体制を整えています。
	㉝	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		不定期ですが、今年度より通信の発行を開始いたしました。教室からのお知らせやイベント報告を掲載しています。
	㉞	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報には細心の注意をもって取り扱っています。
	㉟	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		お子さんはもちろんのこと、保護者の方に合わせた、情報伝達・コミュニケーションを心がけています。
	㊱	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	実施していません。
非 常 時 等 の 対 応	㊲	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		今年度、各種マニュアルの整備を行いました。 また、訓練を各曜日で1回ずつ行いました。引き続き、必要に応じてマニュアルの修正を行っていきます。
	㊳	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		
	㊴	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		毎年1回、全体研修を行っています。また、杉並区や中野区主催の研修に管理者やスタッフが複数人参加しています。
	㊵	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			身体拘束は行いません
	㊶	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	対象となるお子さんがいません。
	㊷	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○	日々のふりかえりの中で共有しています。また、事例として、ミーティングで確認しています。